生涯学習関連施設 業務評価シート

スポーツ施設

施設名/足立区総合スポーツセンター

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月1日　【評価委員会】令和8年8月19日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　　水準を上回る：4点　　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定(評価点×2)や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	26.0 (満点=30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・自館運営について、大きな事故なく管理運営等業務を実施。 ・屋外施設を含め他館施設について、優先・一般予約業務においてシステム入力・追加変更対応等を実施。また、問い合わせやお客様対応も行ない、苦情のトラブルも最小限に抑えた。 ・新施設（講座）予約システムの導入にあたってはいち早くエラーの抽出に努め、スポーツ振興課と連携し早期の課題対応でトラブル影響を最小限に抑えた。 ・職員・スタッフの勤務に過不足が生じないよう勤務体制とシフト調整を実施。 ・令和7年度も引き続き研修強化を行ない、運営・受付・アスレチックルームスタッフに対しWEB含め26回・283名に研修を実施。実務業務の他、個人情報保護・防災・危機管理・顧客応対・コンプライアンス・マナー・SNS投稿等、業務につながる幅広い知識の習得に努めた。別途副所長が講習会を受講し、『スポーツ施設管理士』と『初級パラスポーツ指導員』の資格を各1名ずつ新たに取得。 ・外部講師を招聘し、今年初めてスポーツ施設用器具の取扱い講習会を実施。他館にも案内し、自館職員7名に加え5名の他館職員も受講。区内全施設で適切な器具使用方法習得ができるように努めた。 ・個人情報保護の観点から一部業務の効率化・安全性を考慮して一部フローの改善を実施。			
			【改善すべき点･課題等】 特に地元での採用活動を継続し、できるだけ長く勤務できるスタッフの育成（知識・経験の継承）を行っていく。			
		区記入欄	【特記事項】施設運営について、スポーツ振興課との連携により、トラブルを最小限に抑えたことを評価する。項目1について、施設予約システムの変更に伴い、システムのエラーや現場の運用変更などがあったが、問題の共有が迅速であり、対応が適切であったことを評価し、水準点に2点加点する。項目3について、令和6年度行っていた研修に加え、他施設と連携した体育用器具のメンテナンス講習会を実施しており、適切な施設運営に努めていることを評価し、水準点に2点加点する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】システムのエラーや現場の運用変更の一方で、問題の共有が迅速で対応が適切であったことを評価する。また、6年度行っていた研修に加え、他施設と連携した体育用器具のメンテナンス講習会を実施、適切な施設運営に努めた点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点		
	施設の安全性は確保されているか		指定管理者	担当課	評価委員会
B 安全性の確保	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	5.0	5.0	15.0 （満点=20点）
	2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
	3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	3.0	3.0	
	4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	4.0	4.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・目の届きにくい屋外施設や公園遊具等は、遊具の日常点検講習会を受講した管理者が毎日点検を実施（遊具以外に樹木・グレーチング・歩道タイルのがたつき・グラウンドの異物点検等）。確認できた不備については日々細かな修繕と、大きい瑕疵については必要な措置を取った上でメーカー・業者に共有し対応。 ・老朽化している施設設備については保守点検を日常的・計画的に実施し、先々に不具合発生の可能性がある箇所をスポーツ振興課にも共有し、修繕等の未然防止策を実施。不具合発生時には利用者の安全性に必要な措置を取りながら、できるだけ利便性が損なわれないように対応。 ＜対応事項＞ ・小体育室バスケットゴール更新、生活道路イチョウ並木盛土、幼児用プール滑り台滑走面亀裂、体育館棟外壁ガラス面ひび割れ、体育室壁面鏡不具合、駐車場出入口石板がたつき、3Fテラス手摺金属パイプ腐食補修、テニスコート観覧席ベンチ修繕、大体育室グレーチング変形等へ対応。 ・防火管理者（所長）による防火管理計画や各種危機マニュアルを策定し、事務所内に整備。6月と12月に全スタッフ参加による防災訓練を実施しCPR研修等を繰り返し受講。今年は防潮板の使用方法等も再確認。 ・引き続き竹の塚警察署と連携し、『パークで筋トレ』参加者へ詐欺・テロ・盗難・避難等に関連した啓発活動を実施。 ・事故発生時は区の30分ルールに従ってスポーツ振興課に共有を100%実施、連携しながら被害の拡大防止に努めている。 ※令和7年度、救急・事件等の事故報告件数45件（警察より即時の110番通報の指示があったため増加）			
		【改善すべき点･課題等】 ・加速化する施設設備の老朽化や増加する不具合発生への対応の継続。 ・放課後や休日に集まる小中学生の事故等への対応。			
	区記入欄	【特記事項】日常的な施設の遊具点検や不具合に対する未然防止策を実施しており、施設の安全性の確保に努めていたことを評価する。項目1について、日常的な点検を実施しており、不具合発生時にはスポーツ振興課と共有・連携をしていたことにより、計画的な修繕工事をすすめることができたことを評価し、水準点に2点加点する。項目4について、警察署と連携し、詐欺や盗難等の啓発活動を実施しており、施設への迷惑行為についても適切な対応をとっていることは評価するが、110番通報の件数は増加傾向にあるため、水準点に対し1点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】遊具の日常点検講習会を受講した職員による日常点検を適切に実施し、不具合の未然防止に努めるとともに、不具合発生時にはスポーツ振興課と連携し、計画的な修繕工事につなげていることを評価する。また、管理区域が広範囲に及ぶ中、警察と連携しながら適切な防犯対策を実施していることを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	3.0	3.0	9.0 （満点=15点）
	2	個人情報事故への対応 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・個人情報に関する事故の発生は無し。 ・マニュアル等は策定したものを事務所に整備。ペーパー情報の館内管理においては、鍵付きロッカー及び金庫保管管理の徹底と責任者間での鍵管理を実施。区の個人情報保護に関する業務監査では指摘事項無し。 ・個人情報に関する研修はアルバイトスタッフも含めWEB動画視聴による研修を実施。他施設からも共有される個人情報を事故なく集約管理していくために、複数回研修を行って個人情報管理に対するスタッフの意識を高く保つようにしている。 ・パソコンは全台数セキュリティー設定を完備。 ・個人情報に関わる一部業務の効率化・安全性を考慮して一部フローの改善を実施。 ・業務委託先のシルバーセンタースタッフも含め、区公契約条例に基づく最低賃金を確保。			
		【改善すべき点･課題等】 個人情報管理に関わる全スタッフの高い意識を継続。			
	区記入欄	【特記事項】個人情報の保護、各種法令等の遵守をしていることにより、個人情報の漏洩といった事故がなかったことを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】一般的な基準をクリアしている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支　(-7,514千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	2.0	2.0 （満点=5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 本社の施設管理部門により、運営管理チェックを実施。			
		【改善すべき点･課題等】 ・物価高騰の影響が大きい消耗資材の仕入れ対応。 ・人件費(アルバイトスタッフ含む)の増に伴う人件費・業務委託費対応。			
	区記入欄	【特記事項】収支マイナスのため1点減点とする。人件費の高騰による影響も大きいが、事業の集客数が伸び悩んでいたため、令和8年度は収支がプラスになるよう期待したい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】適切な財産管理が行われている。 【改善すべき点】収支が赤字となっているため、適切な財務運営に努めてほしい。 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿ったスポーツ事業が提供されているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	4.0	4.0	15.0 （満点=20点）
		2	A型･C型事業（共催事業）の企画・実施・成果 ◆A型・C型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	自主事業の企画・実施・成果 ◆自主事業の企画・実施・成果	3.0	3.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 〇新規の事業開始 ⇒例年人気の高い『ZUMBA』（木曜日）は定員を超えて受け入れて来たものの、会場収容能力による安全性を考慮し、令和7年度については入場に制限をかけた。代わりに別途『ZUMBA PARTY 10/12』を小体育室でスポット開催し（48名参加）、広々とかつ音量にも気を使うことなく、参加者には好評実施。アスレチックルームのトレーニング利用者、『ZUMBA』講座参加者双方の満足度を高めた。8年度は回数を増やしていく予定。 ⇒アスレチックルームで『パーソナルトレーニング』を11月より開始。開始後はずっと空きができることなく、週1回の実施で24名が受講。 〇『あだちスポーツチャレンジ』として、現役メダリストによる陸上教室を開催。オリンピアンでかつ東京2025世界陸上にも出場していた現役選手の指導で、参加者からも好評価（参加者41名）。現役選手の講師によるスポチャレは初めて実施。 〇『パークで筋トレ』事業を今年度も実施、天候等による中止を除き41回実施、参加者942名（前年1,137名）。			
			【改善すべき点･課題等】 ･高齢者比率が高く高齢者対応事業の継続と次世代の事業への誘導。 ･子ども対象事業の拡充により、子育て世代の施設利用促進。			
		区記入欄	【特記事項】A型事業について、1回あたりの事業定員数に対し参加者数が平均して6割を満たない状況であるため、令和8年度は参加者数が増加するような取り組みに期待したい。また、令和7年度新たに実施した事業については、参加者から好評を得られていることを評価する。項目1について、広報活動の強化に努め、LINE登録者数や施設ホームページの訪問回数等が令和6年度から増加していることを評価するが、令和7年度から新たに行っている取り組みではないため、水準点に対し1点の加点に留める。項目3について、例年行っている事業に加え、新規事業を行うことで、施設利用者からの好評を得られたことを評価し、水準点に2点加点する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】空きがなく、事業展開が難しいなかでオリンピックレガシー事業を継続して行うほか、新たな事業にも取り組んでいる点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点		
B 学習支援の取り組み	適切なスポーツ活動支援を行っているか		指定管理者	担当課	評価委員
	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、利用者懇談会の運営　など	4.0	4.0	14.0 （満点=15点）
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域との連携　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・サークル(登録団体)支援として、サークル体験会参加誘導に協力（広報・受付）。自館経由での体験会参加者は59名（令和6年度は94名）。 ・スペシャルクライフコートにおける事業では従来通りスポーツ推進委員と連携して取組み、18回の事業（パラスポーツ体験会）を開催し、680名が参加（うち障がい者は12名）スポーツ推進委員54名、ボランティア2名の方々と連携して活動。また、2/1の区主催事業『パラスポーツ体験会』ではスペシャルクライフコートコーナーを担当し、139名の来場となった。 ・利用者懇談会は4回実施し課題・要望の抽出と対応実施。 ・例年通り区内はじめ中高校の職場体験・博慈会高等看護学院のインターシップ等を受け入れ（8件）。今年は都立花畑学園の就業体験受け入れを39名と大幅に増やし、そのため受入日数を3日に増やした。 ・保塚地域学習センターと連携し、レクリエーションルームで学習センター主催によるアロマ体験会を開催。子ども向け講座の保護者を中心に案内を実施し体験会へ誘導。 ・竹ノ塚警察署と連携し、利用者に向けて詐欺・テロ等防犯啓発活動の開催。要人警護のための施設利用（駐車場）に協力し、表彰を受ける。不定期ながら夕方～夜間の施設内巡回も保木間交番に依頼し協力あり。 ・高齢者地域包括ケア推進課から受託したフレイル予防教室では、各地域包括支援センターと連携して参加者募集。 ・施設で運営している講座の内、足立区公認スポーツ指導員の協力を得て実施している講座は29講座。 ・令和7年度は初めてボランティア人材と連携した組取り組みを実施。ボランティア募集プラットフォームの『アクティボ』に登録し、応募者（区民）と共にパラスポーツ体験会（2/1）のスペシャルクライフコート事業を行った。			
		【改善すべき点･課題等】 区内ボランティア人材との連携は、今後多方面に増やしていくことを検討している。			
	区記入欄	【特記事項】登録団体に対し、サークル体験会の広報や受付等に協力しており、適切なスポーツ活動支援に努めていることは評価する。項目1について、デジタルサイネージを活用することで各登録団体の周知の強化を実施していることは評価するが、令和6年度に対し、体験会の参加人数が減少傾向にあるため、水準点に対し1点の加点に留める。項目2について、幅広い団体との連携を実施しており、区内学校の職場体験やインターンシップ等の受け入れを令和6年度より増加させていることを評価し、水準点に2点加点する。項目3について、高齢者をターゲット層とした事業を実施している他、区民を中心とした指導員やボランティアを活用しており、地域に配慮した活動ができていることを評価し、水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】高齢者をターゲットにした事業展開をしているほか、区民を中心に講師やボランティアを依頼し、地域に配慮した活動ができている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点		
C 利用の状況	適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）		指定管理者	担当課	評価委員
	1	利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超又は利用者数の過去3年平均比増 利用率基準値/95% 利用者数（395,582人）　　※過去3年平均からの伸び率/100.4 %	4.0	4.0	4.0 （満点=5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 令和4年度～令和6年度計1,181,247人÷3＝393,749人(3年平均人数) 令和7年度　利用者数　395,582人（対前年98.8%）　　※過去3年平均からの伸び率/100.4% ※令和7年度は選挙開票所対応が3回に増えた（前年2回）ことによる影響が▲4,800名程度(1,200名×4回)			
		【改善すべき点･課題等】 20～50代の施設利用促進。			
	区記入欄	【特記事項】利用率の向上に向けて、継続的な広報活動や、快適な施設利用の提供に努めていることを評価する。項目1について、令和6年度に対し利用者数は若干減少しているが、全館利用のイベントや選挙の回数が令和6年度より増えたことを鑑みると増加傾向にあるといえるため、水準点に対し1点加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】区主催のはつらつ・フレイル予防教室の実施やスポーツ指導員による講座を実施したことを評価する。また、全館利用のイベントや選挙の回数が6年度より増えたことを鑑みると増加傾向にあることを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】利用者増の継続を期待したい。			

D 利用者の満足度（アンケート調査等による）	**利用者の満足を得られているか（評価点×２）**		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.4 (×2)	32.8 （満点=40点）
	2	施設・設備満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4.4 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4.1 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3.5 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 〇窓口スタッフを中心にマナー、顧客対応、CX（カスタマーエクスペリエンス）等のWEB研修実施。 〇初級パラスポーツ指導員資格者5名の配置に加え、令和7年度も研修会を受講し新たに1名増員。 〇『利用者アンケート』、『お客様の声』（施設内BOXにて回収）、『利用者懇談会』等で施設の課題や要望を吸い上げ、可能な限り対応。また、HP上の『WEB問い合わせ』についてはすべて2日以内での回答を実施（86件）。 ＜対応実施例＞ ・夜間西口出入口の電気が暗く通行の際に不安の声に対し、電灯のLED化と照射角度調整（スポーツ振興課と連携） ・大小体育室壁面鏡の調整修繕により、ガタツキ改善と倒れ予防 ・ミストシャワーを独自で購入・設置し夏季の熱中症対策、プールサイドに穴開き散水ホースを設置し足裏火傷予防等 〇館内及び屋外においての表示・POPを整備（見やすさ・わかりやすさ）。館内では登録団体の紹介スペースや他館・行政のイベント紹介等をカテゴリー別に整備し、開催スケジュールに応じて随時更新。 〇ミニコミ誌（ハッスルパーク）配布数は5,700部（令和6年5,500部）			
		【改善すべき点･課題等】 ・施設老朽化や経年劣化による施設設備の不備対応。 ・古くても清潔感の感じられる施設整備の継続。			
	区記入欄	【特記事項】利用者のご意見に対し可能な限り対応をしており、施設利用者に満足していただけるような施設運営に努めていることを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】スポーツ施設ゆえの改善希望が寄せられているが、現状施設・設備の中で対応されていることを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点×3		
		5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか。（評価点×３）	指定管理者	担当課	評価委員
E　主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			24.0 （満点=30点）
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ＜スペシャルクライフコート事業＞ ・パラスポーツ&レクレーション体験会を年間実施計画に基づきスポーツ推進員延べ54名、ボランティア2名と協力して18回実施、参加者680名。また、10月のスポーツカーニバルでは総合スポーツセンターの企画としてパラスポーツ体験会withヘキサスロンを実施、4時間の開催ながら421名が来場し大盛況となった。他、新しい遊具『コーンホール』を総合スポーツセンター独自に購入・導入する等して、スペシャルクライフコートの魅力upに努めている。 ＜フレイル予防活動支援＞ ・高齢者地域包括ケア推進課から受託しているフレイル予防・はつらつ教室を以外に、『元気いきいき教室』（延べ727名参加）、『お気軽体操』（延べ488名参加）、『トリム体操』（延べ688名参加）等の講座を継続実施。他に利用者懇談会等を通して、ぱく増しやあだち脳活ラボの啓蒙も実施。 ＜新規事業＞ ・人気の講座である『ZUMBA』教室のスピンオフとして、10/12(日)小体育室で『ZUMBA PARTY』を実施。他施設講師と自館講師2名の協働開催とし、通常利用者以外も含め参加者48名で実施。 ・アスレチックルーム利用者に向けて、パーソナルトレーニングを11月より新たな事業として展開。開始後は講師の対応可能な時間内で常に埋まっており、順番待ちが発生している状況。3月まで延べ24名に実施。 ・＜オリパラレガシー事業＞ 『あだちスポーツチャレンジ』に、東京世界陸上2025にも出場した現役オリンピアンによる陸上教室を開催。中学生41名が参加し、終了後のアンケートではほぼすべての参加者が満足度の高い回答。 ＜区3分野連携事業＞（スポーツ・読書・文化芸術の相互効果発揮） ・令和6年より開催している保塚地域学習センター主催のアロマ体験会を11/13(木)に継続実施。当日は総スポ講座の参加者へ案内実施し10名が体験。 ・地域学習センター図書館の廃棄図書を活用し、令和6年度、2Fフロアに図書コーナーを設置。令和7年度は中央図書館の協力を得て陳列図書の内容を刷新し充実させ、図書コーナーを3Fフロアにも増設し、プレイ同行者や待ち合い利用の利便性を高めた。			
		【改善すべき点･課題等】 開始できた3分野連携事業の拡幅・振興。取組み可能なことへのアンテナを拡げ、より目的に合致した相乗効果が発揮できるよう、継続して取組みを行っていく。			
	区記入欄	【特記事項】障がい者スポーツ体験やフレイル予防活動支援等、計画通りに事業を実施しており、利用者からの好評を得ることができていることを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】全ての区民が運動、スポーツ、文化芸術、読書活動に積極的に参加できる場を目指し、5カ年計画の2年目として着実に事業を実施している。 【改善すべき点】主要事業において、参加者数の伸び悩みがあるため改善に努めてほしい。 【その他注意点】			
合計点			86.0 （満点110点）	117.8 （満点=150点）	141.8 （満点=180点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	全ての区民が運動、スポーツ、文化芸術、読書活動に積極的に参加できる場を目指し、5カ年計画の2年目として着実に事業を実施するとともに、スペシャルクライフコートを活用した障がいのある方を対象とした体験会などの取り組みを評価する。今後は、スポーツを中心とした施設の特性を生かし、新たな集客目標を掲げ、更なる事業展開を期待したい。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価
	141	A−

⇒ ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ 有 (無) ⇒ 総合評価 A−

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
1-D項目1における減点項目について、最低賃金の改定など様々な理由はあると考えられるが、収支が赤字になってしまったため、収入が収支を上回るよう改善を求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A−	B＋	B	B−	C
180点	108点	162点以上	150点以上 161点以下	135点以上 149点以下	121点以上 134点以下	107点以上 120点以下	98点以上 106点以下	97点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「３」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。